

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミⅡ	チーム名	HottoMotto 岡田
タイトル	神戸でオリックスを観よう		
テーマ群	e) 産業・企業 g) その他		
メンバー	川口雄也 小川貴久 前田皓平 藤巻崇 和歌美里 泥伸太朗 飯島大貴 芳田あかね 中村冴里		
研究計画内容	<p>今回私たちが取り上げたテーマは「オリックスバファローズ」です。プロ野球チームとして現在、神戸と大阪に本拠地を置いています。</p> <p>この二つの球場を本拠地に置いているチームですが、2005年に近鉄バファローズが球団の経営不振によりオリックスと合併し、「オリックスバファローズ」が誕生しました。2006年まではプロ野球地域保護権により、大阪と神戸の試合数は半数ずつでしたが、2008年に副保護地域の暫定措置が終わり、年々神戸での主催試合が減少していています。</p> <p>しかし、球団としては近年観客動員数が増加しており、神戸での開催試合では夏場は花火ナイトなど様々なイベントが開催されています。また大阪での試合数が多いものの神戸での観客動員数の方が比較的多い結果となっています。</p> <p>そこで、私たちは「神戸で観戦しよう」というテーマから、大阪での試合が現在では半数以上を占めているのはどうしてなのか、そして神戸で試合を開催した場合、神戸の街にどのような影響があるのかを研究し、現在よりも神戸での試合数を増加させるにはどうすればよいのかという提案をしていきます。</p> <p>球団では近年、女性限定、季節限定のイベント、またイケメン選手目当てに球場を訪れる「オリ姫」と呼ばれる女性ファンの増加により、観客動員数が増えています。甲南大学内でのオリックスの認知度や神戸での開催に関するアンケートの結果も参考にし、オリックスの現状の認識や1試合あたりの観戦にどのくらいの金額を使用するかを調査しました。そこから試合数や、観客の関するデータから、地域と球団の関係、いわゆる神戸とオリックスの関係について発表していきます。</p>		